

1 日司書さんー上河内図書館ー



↑「将来は司書になりたいな」(詳細は2面に)

祝! 200万人~南図書館

第198号の主な記事

- 1面 写真…1日司書さん・南図書館 200万人突破!・読書生活
- 2面 1日司書さん・南図書館 200万人突破!・予約ベスト10
- 3面 リサイクル市(中央図書館)・調べ方のツボ
- 4面 としょかんめぐり…第4回宇都宮短期大学附属図書館



↑みなみちゃんもお祝いに駆けつけました!
(詳細は2面に)

と
し
お
か
ん

第198号

平成26年10月1日

宇都宮市立

中央図書館

東図書館

南図書館

上河内図書館

河内図書館

読めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

読書生活



宇都宮市立城東小学校校長
柿沼 隆久

大人こそ読書を

読書よりも楽しいことがたくさんあった子どもの頃、読書は親や先生に勧められて取り組む「勉強」でした。それでも中学・高校生の頃には、本は「新しい世界に触れる楽しさ」を感じさせてくれるものになりました。また、大学生の頃には、勉強のために必要な道具となってきました。

社会人になった今、自分の仕事や勉強のために、本は必要不可欠からざる道具であり、本当に有意義なものと感じます。

社会人になってから私は、ほぼ毎日、就寝前に本を読む時間をとるようになりました。若い時には読めていなかったことに気付くことや、新たに世界が広がることも多く、自分を取り戻す貴重な時間になっています。

本の意義やそこにある世界を本当に理解できるのは、大人になってからなのではないかと感じます。読書は子どもだけに必要なものではないはずです。大人こそ、本を傍らに置きたいものだと、個人的に思っています。





↑ 緊張するね。貸出の体験

上河内図書館で8月1日に「1日司書さん」が行われました。この事業は、図書館での活動体験を通して利用方法を学び、図書館で働く司書の仕事を身近に感じてもらうために、毎年実施しているものです。
人気の事業のため、今年は申込受付の初日で定員になってしまいました。
当日は、市内在学の小学3年生から6年生20人が参加しました。2班に分かれ、職員の説明を聞きながら館内を見学したあと、一

**司書の仕事を
体験してみよう!**
—上河内図書館 1日司書さん—



↑ どの本で調べればいいのか

人ずつカウンターでの本の貸出・返却、配架（本を棚に戻す作業）を体験しました。
その後、「図書館にある本で調べてみよう」をテーマにレファレンスを体験。テーマから好きな項目を選んで、職員のアドバイザーをうけながら、一生懸命に資料を探していました。
最後に、感想文とアンケートを書いてもらいました。参加者の一人は、「司書さんの仕事は、本の貸出、返却だけだと思っていましたが、レファレンスや本の修理をしていることを初めて知りました。大変でしたが、体験できてとても楽しかったです。将来は司書さんになりたいです。」と感想を述べていました。アンケートでは、8割が、「また、参加したい」と答えていました。
上河内図書館では図書館をよく知っていただくため、今後もこの事業を継続してまいります。



↑「200万人達成認定証」と記念品を贈呈しました。

広野館長からインタビュー
↓を受ける福島くん



**南図書館来館者
200万人達成!**

平成23年7月16日に開館した南図書館は、8月9日(土)に、来館者200万人を達成いたしました。記念すべき200万人目となったのは、ご家族で来館されていた、上三川町在住の小学3年生・福島尚也くんです。

順位	タイトル	著者名	出版社
1	虚ろな十字架	東野圭吾	光文社
2	村上海賊の娘 上巻	和田竜	新潮社
3	村上海賊の娘 下巻	和田竜	新潮社
4	祈りの幕が下りる時	東野圭吾	講談社
5	豆の上で眠る	湊かなえ	新潮社
6	銀翼のイカロス	池井戸潤	ダイヤモンド社
7	ペテロの葬列	宮部みゆき	集英社
8	明日の子供たち	有川浩	幻冬舎
9	マスカレード・イブ (文庫)	東野圭吾	集英社
10	山女日記	湊かなえ	幻冬舎

**予約
ベスト10**



平成26年9月17日現在

リサイクル市を開催しました



9月7日～8日、中央図書館で有償リサイクル市を開催しました。

有償リサイクル市とは、図書館で不要になった本（除籍した本や寄贈された本）を市民の皆さまに有償で提供する事業です。期間中、あいにくの天気にもかかわらず、朝から本を求めに多くの市民の皆さまにご来場いただきました。

来場者の方にお話をきいてみたところ、「毎年来ています。図書館の本を捨てずに



↑ 掘り出し物があるな



↑ 賑わう会場内

次のリサイクル市

南図書館（雀宮町）

11月16日（日）10時～15時30分

利用できるよい試みで、中には古くて手に入らない本もあるので嬉しいのです。この催しを知らない人もいるので、いろいろな機会に宣伝していったらよいのでは」という感想をいただきました。

2日間の来場者数は816人、売り上げは20万9100円でした。この収益は資料購入費に充当しております。ご来場いただいたみなさん、ありがとうございました。

調べ方のツボ

実際に図書館で質問を受けた事例を紹介するコーナーです。

ファイル 4

1339年（暦応2年）に飛山城が落城したようですが、それは何月のことでしょうか。



調べ方

ご自身でも、市図書館のホームページの蔵書検索や、図書館内にある検索機で、資料を調べることができます。書名欄に「飛山城」と入力しても資料は見つかりますが、検索条件を内容タイトル（検索機では内容書名）に変更して検索をすると、より多くの資料を探すことができます。宇都宮市と関連の深いキーワードについては、この方法が有効です。

回答

検索した資料のうち、『飛山城跡』と『宇都宮城のあゆみ 2版』で、落城したのは1339年ではなく、1341年であると記述されていることを確認しました。

1339年2月、南朝方の春日^{かすが}頼国^{あきくに} 矢木岡城・益子城を攻略。また、飛山・宇都宮勢と戦い勝利。1339年4月、頼国軍、飛山・宇都宮勢と戦い勝利。1341年8月1日、頼国軍により飛山城落城。

【参考文献】

『飛山城跡』今平利幸著（同成社）2008 p.87
『宇都宮城のあゆみ 2版』宇都宮市教育委員会文化課 2009 p.21

中央図書館作成

としよかんめぐら

第4回 宇都宮短期大学附属図書館

第4回は宇都宮短期大学附属図書館です。図書館長の安藤教授と司書の斉藤さんからお話を伺いました。

図書館は宇都宮短期大学3号館の4階にあります。

宇都宮短期大学音楽科の図書館として昭和42年に設立され、音楽に関する資料を主に収集し現在に至ります。

楽譜が充実
している書架



雑誌架

図書館からの
景色



光が降り注ぐ
書架



■蔵書の特徴や取り組み

図書と楽譜を合わせて約5万冊の所蔵があり、そのうち1万5千冊が楽譜です。雑誌も120誌を所蔵しており、人間福祉学科もあることから音楽関係だけではなく、福祉関係の分野も充実しています。そのほか、音楽療法に関する資料も収集しているとのことでした。

また、彩音祭（大学祭）では、毎年様々な作曲家の特集の展示を行っており、今年は11月16・17日の日程で、ラフマニノフの展示を予定しているそうです。

DATA

宇都宮短期大学附属図書館

■所在地 〒321-0346

宇都宮市下荒針町

長坂 3829

■連絡先 028-648-2313

■休館日 日曜日・祝祭日・年

末年始・臨時休館日

■開館時間

8:30~17:00（月~土）

■ホームページ

<http://www.mlaj.gr.jp/members/jp/utsu.htm>

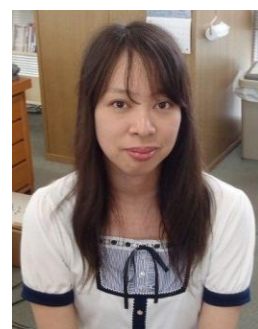
■利用するには…

身分証明書を提示し、利用者登録をしたうえで利用が出来ます。図書・楽譜各5点まで、貸出期間は1週間です。

また、市立図書館を通じて借りることもできます。

宇都宮短期大学付属図書館は、宇都宮を一望する高台にあり、音楽や福祉についての調べものにご利用ください。眺めがいいところで調べものをしていただければ」とお話されました。

取材に伺った日は、あいにくの天気でしたが、晴天ならば最高の景色に出会えるだろうと感じました。



お話を伺った
斉藤さん

館報としよかん 第198号

ホームページ <http://www.lib-utsunomiya.jp/>

（編集発行）

中央図書館

東図書館

南図書館

上河内図書館

河内図書館

明保野町7番57号

中今泉3丁目5番1号

雀宮町56番地1

中里町182番地1

中岡本町3397番地

〒320-0845

〒321-0968

〒321-0121

〒321-0414

〒329-1105

TEL028-636-0231

TEL028-638-5614

TEL028-653-7609

TEL028-674-1123

TEL028-673-6782



◆編集後記

異常気象とはいいつつも、秋は忘れずやってきているようです。読書するにはうってつけの季節、秋の夜長にじっくり長編に取り組んでみるのもよいのではないのでしょうか。ただし、くれぐれも夜更かしにはご注意ください。（中央）